声明書

今こそ世界資本主ぎの大勢は省て見ざる混乱期に当面して居る
見よ！・あの事実はヨーロッパ資本主ぎ諸国家に於ける未曽有の動揺と極東に於ける殖民地半殖民地の軍事的規模の拡大されたる殺人的戦争ト依って示されて居る斯くて資本家地主共の最后の挑戦は呪ふべき惨害性を無産階級の全面にのしかけて居る　而かも此のブルジョアジーの攻勢力は極東に於ける日本プロレタリアートに如何に反映して居るか
労仂組合戦線の集合集散は此の間の事情を冷さ、かに物語って居る階級的陣営の実力は敵の腐れかゝったる陣営を未だ尚ほ理形にとじめて居る、満州戦争を経緯として公然たる姿を現はし始めたる反動団の跳梁跋扈は敵階級の有力なる前衛としてファッショを登場せしめて居るが、る特異な政治的現象に対する一大決戦の準備が無産陣営の各書を動員してファッショ粉砕の斗争目標を日程にのぼして居る斯る視野ト於ける吾々斗争動員は反資本主義を中心主眼とする全日本の無産陣営の統一!!"労仂組合戦線統一を無条件に要求している
斯の如く無産陣営に緊急必要とする全日労仂組合会議設立の重大なる時期に当面し吾がクラブ排撃同盟は六月三十日排同組合代表者会議に際し上述の如き観点を基礎として「全労再建の提唱」を取り上げ断乎たる態度を以てブルジョアジーにと乃斗争を約束した　此処に新たな希望を以て「全労再建協議会」の設置を見るに至った

全日の同志諸君！
吾々は今全労再建協議会の任務を簡明に表明する
(1)クラブ粉砕の為の全労組織内に於ける活動と全日労仂組合会議への発展転化
(2)再建協議会の刹々の情勢を職場大衆に浸透せしめることと
(3)全労再建大会への前進
以上の如き見解を吾々は協議会の重要なる任務を理解する
全日の同志諸君！
吾がクラブ排撃同盟は上述の如きプロレタリア運動に対する当面の斗争任務を決定した　従って今后指揮ある排同の斗争部面に分裂主義の如き行動を採る者如きは絶対に排除しなければならない　かくてこそ全労クラブ排同の一九三二年度下半期の劃期的斗争が約束せられるであらう

一九三二、六、三0

全日労仂
クラブ排撃分裂反対同盟
組合代表者会議